



SpringerProtocols

ADVANCING
DISCOVERY

ライフサイエンスの実験に不可欠な
世界最大のプロトコル・データベース

- ライフサイエンス・バイオメディカルの実験を幅広くカバー
- 5万点を超える圧倒的多数のプロトコルを収載
- Methods in Molecular Biology™を含む実証済みの信頼性の高いリソース
- 簡単に検索、印刷、実験ベンチへ
- 最新の設備や器具でなくても使える旧版のプロトコルも収載
- 実験に最適なプロトコルを迅速に検索・評価できるプラットフォーム
Springer Nature Experimentsに登載

SpringerProtocols

SpringerProtocolsは、ライフサイエンスとバイオメディカル分野の実験プロトコルを幅広く収録したオンライン・データベースです。新規のプロトコルやメソッドを報告するだけでなく、先行研究を分析、検討し、既存メソッドと比較したレビューも掲載され、トラブルシューティングに適したデータベースになっています。学術的に優れ、信頼できるコンテンツを備えたSpringerProtocolsは、必要とするプロトコルをすばやく簡単に検索でき、実験を計画する時間、資金や労力が大幅に減少され、手順に沿った実験の実施で確実に結果を得ることができます。



定評のある Methods in Molecular Biology シリーズの全巻を収録

ジョン・M・ウォーカー (John M. Walker) 博士が編纂する Methods in Molecular Biology は、現在のプロトコルのフォーマットのスタンダードとなったパイオニア的ブックシリーズで、約30年の歴史があります。これまでに1,800巻以上が発行され、各巻におよそ20から50のプロトコルが収録されています。

SpringerProtocolsは、シュプリンガー・ネイチャーのプロトコルやメソッド製品 *Nature Methods*、*Nature Protocols*、Protocol Exchange とともに、無料のプラットフォーム **Springer Nature Experiments** に掲載されており、広範かつ高品質なコレクションをワンストップで検索できます。

Springer Nature Experiments は、最新のAIやテキストマイニングテクノロジーを駆使して、記事で言及されている技法や有機体を識別します。

研究者は実験を計画する際、様々な疑問や課題に直面します。そこで役立つのが、実証済で信頼性の高い手順が記載されたプロトコルです。ユーザーは自信を持って更に研究を進めることができますでしょう。

ジョン・M・ウォーカー
SpringerProtocols 編集長

experiments.springernature.com

製品別のブラウズも可能

SpringerProtocols は **SpringerLink** からアクセスが可能で、一つの検索ワードについて、イーブックやジャーナルも横断検索することができます。

実験のためのレシピ

生物学、医学、および製薬の研究では、実験は再現できるように正確に記録されることが大切です。しかしながら、研究文献を参照するだけでは、実験を正確に再現できません。こうした問題も SpringerProtocols を用いれば、ゼロから始める必要はなく、ラボラトリーは時間とお金を節約することが可能となります。SpringerProtocols では、段階的な実験手順、必要な機器と材料リスト、およびトラブルシューティングと安全上の注意事項と説明を含んだ、信頼性に富み再現性の高いプロトコルを提供します。



■ プロトコルは生物学的課題を分子レベルで解決するための実験に使用されます

プロトコルの構成

SpringerProtocols に掲載されているプロトコルは、ブックシリーズ Methods in Molecular Biology によってはじめられ、今やプロトコルのスタンダードとなったフォーマットで統一して執筆されています。

- **Introduction** – その実験に関する、必須の理論や背景情報を含む概論
- **Materials** – 温度条件や安全性情報を含む必要な全ての装置と材料のリスト
- **Methods** – 各段階で使用される材料名を含む実験手順と結果の見本
- **Notes** – 注意点、コツ、およびトラブルシューティングのアドバイス



SpringerProtocols のコンテンツ

- **Methods in Biotechnology**
- **Methods in Molecular Biology**
- **Methods in Pharmacology and Toxicology**
- **Neuromethods**
- **Springer Protocols Handbook**

他、単行本や Molecular Biotechnology、Biological Procedures Online などのジャーナルも収録

本だけでも約 2,300 巻分のコンテンツ



SpringerProtocols がカバーする分野

- 生化学 (Biochemistry)
- バイオインフォマティクス (Bioinformatics)
- バイオテクノロジー (Biotechnology)
- 癌研究 (Cancer Research)
- 細胞生物学 (Cell Biology)
- 遺伝学/ゲノミクス (Genetics/Genomics)
- イメージング/放射線学 (Imaging/Radiology)
- 免疫学 (Immunology)
- 感染症 (Infectious Diseases)
- 微生物学 (Microbiology)
- 分子医学 (Molecular Medicine)
- 神経科学 (Neuroscience)
- 薬理学/毒物学 (Pharmacology/Toxicology)
- 植物学 (Plant Sciences)
- 蛋白質学 (Protein Science)

SpringerProtocolsの特長

研究者にとってのメリット

- **世界最大のプロトコル集** – 5万点を超える圧倒的多数のプロトコルを収録。年間4,000点以上のプロトコルが新規追加。幅広く深い内容が盛り込まれ、最新版だけでなく旧版も収録しているので、新しい装備のない環境でも実験が進められる
- **高い信頼性と確実性** – ピア・レビューを経たコンテンツと必要な項目の揃ったわかりやすいレイアウトで、手順に沿った実験の実施で確実に結果を得られる
- **実験時間の節減** – 研究者が適切なプロトコルに確実にアクセスできることから、貴重な時間を節減でき、実験の成功率も高められる
- **使いやすいプラットフォーム** – 使い方を学ぶ必要なし。Springerのジャーナルと同じプラットフォーム、SpringerLinkを利用でき、ジャーナル論文と同じ感覚で利用が可能。さらにプロトコルとメソッドの利用に特化した無料の **Springer Nature Experiments** の併用利用で、検索の効率化を実現

図書館員にとってのメリット

- 利用者が1ヵ所に集約された信頼性の高い再現可能なプロトコルにアクセスできることで、研究の生産性が高まり、機関の認知度に貢献
- 幅広く深い内容を盛り込んだコンテンツを有する安定した信頼性の高いコレクションであり、さらにプロトコルとメソッドの利用に特化した無料の **Springer Nature Experiments** の利用により、費用対効果を最大化
- MARC21レコードやCOUNTER準拠の利用統計レポートを提供。Springerのジャーナルと同じプラットフォーム、SpringerLinkを利用することで、管理を必要とするリソースの数を最小限に抑制

SpringerProtocolsのご利用には年間ライセンス契約となります。買い切りによる継続的アクセスも可能です。

また、**Springer Nature Experiments** より横断的にアクセスできる *Nature Methods*, *Nature Protocols* との抱き合わせ提案もご用意しています。

トライアルも受け付けておりますので、下記までお気軽にお問合せください。

シュプリングァー・ネイチャー インスティテューショナル・マーケティング

T 03-4533-8091

E jpmarket@springernature.com

 Springer Protocols

experiments.springernature.com

link.springer.com